

令和7年度舞鶴地域医療推進協議会総会 議事録

日 時：令和7年6月16日（月） 19：30-20：30

会 場：舞鶴市役所別館5階 中会議室

参加者：別紙参照

議 題：第1号議案 令和6年度事業報告について

第2号議案 令和6年度決算報告について

第3号議案 令和7年度事業計画（案）について

第4号議案 令和7年度予算（案）について

第5号議案 会長の選出について

結 果：第1号議案～第4号議案については**原案のとおり承認されました**

第5号議案 委員からの推薦により**法里会長の再任が決定**となりました

議案以外の質疑・発言：

①総合防災訓練について

Q 医師会、歯科医師会、薬剤師会それぞれが災害対策に向け、行動を起こしており、災害対策はかなり進んでいると思っている。本年度実施する総合防災訓練も三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）と連携してできないか。

A 今年度の総合防災訓練については京都府中丹東保健所が大きく関わっている。今後方向性等を探り、連携について検討する。

Q 前回の防災訓練は災害現場での救護活動が主だった。医療機関が参加するのであれば、市の対策本部の元に医療対策本部を作って、各地からの支援者の方々をまとめたり、この地域ではこうした支援がありますよといった情報を集め、それを発信していくような展開だと、良い訓練になると思う。

A 医療分野に関しては、保健所が中心となり、今回の訓練の枠組みをどうするのかを考えているところ。まだ全体像が見えない部分もあるため、ご指摘のことも踏まえ、どうすれば円滑に動けるのかを考えていきたい。

②休日診療所について

Q コロナの割合や他の状況はどうか。

A 具体的なデータを持ち合わせてないので感覚的な話になるが、新型コロナは、年間を通して感染者がいる印象である。そうは言いながら、確かに今は非常に感染者が少ない時期である。

Q 患者層としては、高齢者が多いのか？

A 決してそうではない。年齢を問わず、ご自身で直接来院することができる方が多いように思う。一方で、家族の送迎で受診されるケースも多々ある。日曜日なら、家族も動きやすいのだろう。

※その他

現在は、発熱患者の診察を車内でしているが、院内の発熱外来エリアを利用すべきという意見が医師会でまとまっている。雨天時等に外の車での診察は医師の負担が大きいとの声もある。

③前立線がん検診の再開について

Q 今年度から検診を再開する。また市としてどのようなPRをしてくれるのか

A 担当部署は異なるが、承知している。市役所前の広報板の活用を検討しても良いが、掲載枠に制限がある。市の広報にも様々なツールがあるため、まずは、LINE等での配信を検討の上、周知していけるよう指示する。

④つつじ祭りの対応について

Q 医療関係ブースに参加したスタッフに市や本協議会からお茶など配ってはどうか。

A 主催が民間の有志による実行委員会であり、どのような整理がされているか確認が必要である。

⑤循環バスについて

Q バスの助成を続けていく意味はあるのか。利用実績は2件と少ない。ただし、複数の病院を受診される場合、移動に不便を感じられる方がおられることは承知している。バスに限らず、複数の医療機関を受診された方へは支援する方向ではどうか。

「4つの病院を1つの病院のように」という考え方でこのような制度を整備したが、時代が変わり、実績がないのであればシステム自体を再検討しても良い時期ではないか。

A まずは、利用実態を確認する必要がある。例えば、同日の移動に限るのか、連続的な診察に関するのかなど、どれだけ利用が見込まれるか確認しなければならない。病院側とも現在の実態を確認しながら報告できるようにしたい。

⑥予算について

Q 昨年度に比べて50万円程度増加しているがその理由は。

A 令和7年度は「子供の急病の対処法」という小児用啓発パンフレットの更新を予定しており、これが、昨年作成した啓発資料よりも単価が高く、金額が膨らむものと考えている。

(参考) R6年度: お医者さんマップの作成
R7年度: 「子どもの急病への対処法」冊子の作成

⑦その他発言

- ・歯科医師会長が任期満了により令和7年7月から新会長に交代する。
- ・医師会長も令和7年度内に任期満了のため、交代の予定である。